

次世代育成支援行動計画推進状況

1 子どもたちがはぐくむ子育て力を支援します

(1) 子どもたちの生きる力と自己の発達をはぐくむ教育の推進

① 自らはぐくむ学習環境の推進

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
子ども学級	学校週5日制の実施に伴う余暇時間の増大により、子どもたちと地域の人々とのふれあい活動や各種体験活動などを通じて子どもの健全育成を図ります。	3か所 35講座 延2,128人	3か所	生涯学習課	3か所 26講座 延1,373人
家庭教育地域活動	家庭教育の大切さを考える機会を提供する乳幼児教室を開催するとともに、小・中学校単位で講演会や家庭教育支援講座、地域清掃などの実践活動やふれあい活動を行い、地域の連帯感を育て、家庭教育の大切さを見直す機会を提供します。	乳幼児学級 3回 延103人 (50組) 家庭教育地域活動 15小・中学校で実施 家庭教育支援講座 14回 延4,045人	継続	生涯学習課	乳幼児学級 4回 延103人 (53組) 家庭教育地域活動 14小・中学校で実施 家庭教育支援講座 14回 延2,326人
家族のふれあい活動	「もう一度家庭を見直そう」を主題として、家族ふれあいの各種体験教室や映画会などを行います。	ファミリー映画会 (2回上映) 861人 夏休みファミリー ふれあい教室・社会見学 42人 (17家族) カンタンクリスマス料理 14人 (7家族)	継続	生涯学習課	ファミリー映画会 (2回上映) 564人 夏休みファミリー ふれあい教室・社会見学 38人 (14家族) マジック体験教室 36人 (14家族)
読みかせ	4か月児健康診査を受けるすべての子どもと保護者に、絵本を介して親子のふれあいのひとときを持ってもらうためのブックスタート事業を行います。また、絵本の楽しさを知ってもらうための読み聞かせなどをボランティアの協力でいきます。	本、紙芝居の 読み聞かせ 35回 1,273人 ブックスタート 36回 925人 ストーリーテリング 7回 122人	推進	生涯学習課	本、紙芝居の読み聞かせ 36回 887人 ブックスタート 36回 779人 ストーリーテリング 13回 101人
体験活動・ボランティア活動支援センター	地域で子どもを育てる環境を充実し、青少年の豊かな人間性をはぐくむために、相談員により青少年の奉仕活動、体験活動関係の情報を収集するとともに、ボランティア活動希望者と受け入れ先との調整を行います。	1か所設置 わくわくBOX3回発行 子ども科学実験教室 子ども46人 (見学: 大人17人 子ども6人)	継続	教育課	1か所設置 わくわくBOX情報誌を年3回発行 ぬのを織る機械「織機」を見にいこう 参加者 31人
学校評議員	保護者や地域住民などから選ばれた学校評議員から、学校運営について幅広く意見を聞き、その支援や協力を得て、より一層地域に開かれた学校づくりを促進します。	全校配置 年2回	継続	教育課	全校配置 全小中学校で32回開催
子ども会活動	子ども会活動の向上、子ども会の育成に努めます。	66団体 3,804人	推進	子育て支援課	45団体、会員数2,742人(3月現在) (布袋小、布袋北小、藤里小、門前山小校区なし)
親子リサイクル教室	ごみの減量及び処理、リサイクルに関して、より一層理解を深めてもらうことを目的として実施します。	年1回	年2回	環境課	第1回開催(平成26年8月5日) 14名 第2回開催(平成26年8月8日) 8名
環境学習会(1)	自然と人との共生を図ることを目的に、自然の生態系を観察し、生態系の保全について学習するため、小・中学生を対象に環境学習会を開催します。	年1回	年1回	環境課	第1回開催(平成26年7月22日) 23名 第2回開催(平成26年8月4日) 36名
環境学習会(2)	尾張地域水循環再生地域協議会が主催する流域モニタリング一斉調査の一環として行う、木曾川の水辺の調査。大人から小学生まで参加でき、「水のきれいさ」、「生態系」等を調査する。	平成23年度新規	年1回	環境課	1回開催(平成26年6月7日) 23名
環境学習会(3)	浜岡原子力発電所の停止により、火力発電所の重要性が高まっており、暮らしを支える電気の作られ方や、電気の大切さを学ぶため、火力発電所見学を開催します。	平成23年度新規	年1回	環境課	1回開催(平成26年8月22日) 21名
消費生活講座(親子教室)	日常生活に役立つ基礎知識を、親子で楽しく学ぶ。	平成24年度新規	年1回	市民サービス課	1回開催(平成26年7月30日) 18名
こども土曜塾	参加を希望する小学生4年生～6年生を対象に、算数を中心とした補充学習を実施し、基礎的・基本的な学力の定着と生活力の向上を図ります。	平成25年度新規	開催回数 毎月第2・第4土曜日 24回	教育課	年23回、7会場で開催 入塾者数 136名

② 未来の親の育成

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
乳幼児や就学前児童とのふれあいの機会の確保	小・中学生が子どもと家庭の大切さを理解できるよう、保育園や幼稚園などにおいて、小さい子どもたちとふれあう機会を確保します。	中学生による保育園、幼稚園の訪問の実施	継続	教育課	・小学校:入学前の体験交流を実施、 運動会種目で「新入児かけっこ」を実施 ・中学校:授業で保育園・幼稚園の訪問を実施、 職場体験学習で一部生徒が体験学習を実施
子育て等に関する意識の啓発	家庭のぬくもりなどを紹介するとともに、家庭での男女の役割を認めつつ、男女が共に協力しながら子育てを楽しみ、ふれあうことの意義について理解を深められるよう、啓発をします。	家庭生活自立講座の実施 子育て教室 参加者50人 (17組)	推進	生涯学習課	家庭生活自立講座 料理教室 14人 子育て教室 2教室 延13家族 (36人)

(2) 子どもたちの健やかな心とからだの育ちへの支援

① 子どもの健全育成の推進

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
心の教室相談員	小・中学校に相談員を配置し、子どもが悩みや不安を気楽に話せ、ストレスを和らげることができるように努めます。	全校配置	継続	教育課	全校配置
家庭児童相談室	子どもや家族の持つ悩み(友人関係、いじめ、虐待、家族関係など)について電話相談または面接相談を受け、家庭における健全な児童養育、その他家庭児童福祉の向上を図ります。	1か所 (相談件数 110件)	1か所	子育て支援課	1か所 (相談件数 10件)
少年センター	少年センターの相談員が、子どもや家族の持つ悩み(友人関係、いじめ、不登校、家族関係など)について、電話相談または面接相談を受け、青少年の不安が軽減するように支援します。	1か所 相談件数98件 街頭補導144回 参加人数706人	1か所	教育課	1か所 相談件数167件 街頭補導144回 参加人数605人
適応指導教室	不登校及びその傾向にある子どもに対して、自立と集団への適応指導を図ります。	1か所設置 (指導員4人)	1か所	教育課	1か所設置 (指導員4人)
いじめ・不登校対策	いじめ防止や不登校対策について研究、検討を行い、防止、解消に努めるとともに、アフターケアにも努めます。	いじめ・不登校対策協議会 年2回	継続	教育課	いじめ・不登校対策協議会 年2回
主任児童委員、民生児童委員活動	子どもが健やかに育つ環境づくりを、社会全体の課題としてとらえて支援するため、主任児童委員、民生児童委員と連携し、子どもの健全育成に努めます。また、保育園・小・中学校との情報交換を行います。	主任児童委員会 毎月1回 児童委員会 年2回	継続	子育て支援課	主任児童委員会 毎月1回開催 児童委員会 6地区で各2回開催 (7月、12月)
児童館活動	児童館が地域の身近な遊び場として、多くの子どもに利用されるよう小・中学校、PTAなどの関係機関、団体と連携を図り、積極的な広報活動に取り組むとともに、魅力ある児童館にするために、子どもたちのニーズに応じた活動に努めます。また、指定管理者制度による効率的な運営に努めます。	児童館4施設 学習等供用施設2施設 ファイヤーのつどい 77人 ウォークラリー 64人 書画展1,574人 将棋大会46人 人形劇197人 卓球大会32人	児童館4施設 学習等供用施設2施設	子育て支援課	児童館4施設・学習等供用施設2施設 ファイヤーのつどい120人 ウォークラリー 96人 書画展1,628人 将棋大会45人 卓球大会34人 を実施

放課後子ども教室	小学校の余裕教室を活用し、放課後の子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保し、異年齢の児童間交流と地域住民との交流を図ります。	2校 95日 利用者3,252人	推進	教育課	4校で実施 開設日130日 年間利用者数延 16,682人
子どもフェスティバルの開催	子どもの健全な育成を目的とした、子どもフェスティバルを開催し、親子や子ども同士が楽しく参加でき、交流の輪が広がるように努めます。	参加者 20,000人	継続	子育て支援課	平成26年5月25日(日)開催 場所 すいとびあ江南 ・フラワーパーク江南 参加者28,000人
学校における健康教育	喫煙、飲酒及び薬物乱用などの防止、また、生命の尊さへの理解を深めるための性教育や健康教育などを、学校と連携して推進します。	(健康づくり課) 7校で実施	推進	健康づくり課	2校2回実施
		(教育課) 全校で授業、学級活動、講演会で実施	推進	教育課	全校で授業、学級活動、講演会で実施
保健師による相談	思春期における問題や悩みに対して、電話や面接などによる相談を行います。	随時	継続	健康づくり課	随時実施

②食育の推進

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
離乳食講習会	そしゃく能力や味覚の基礎をつくる大切な5～8か月、9か月～1才6か月の時期に、離乳食の進め方などを指導します。	月1回 (196人)	月2回	健康づくり課	月2回(436人)
離乳食・栄養相談	一人ひとりに応じた相談ができる場を設けることにより、食を通じた子どもの健全育成を支援します。	月1回 (87人)	月2回	健康づくり課	月1回(63人)
親と子の栄養教室	規則正しい食習慣が食生活に豊かさを生み出し、食事を楽しいものにします。食生活の乱れを防ぐため、適切なおやつや食事の取り方を指導します。	年4回 (114人)	年6回	健康づくり課	年4回(98人)
歯と栄養の親子教室(げんきっ子教室)	親と子が食習慣を身につける時期に、正しい知識や技術を普及します。	月1回 (208人)	月1回	健康づくり課	月1回(132人)
フレッシュ・パパママ教室	妊娠、出産、育児に関する正しい知識を普及し、安心して出産に臨めるように支援します。	通常型 6コース (1コース3内容) 休日型6回 (延359人)	継続	健康づくり課	教室名称・内容及び回数変更ハッピーパパママ教室 通常型 6コース(1コース2内容) 休日型8回 延284人
健康フェスティバルの開催	幼稚園・保育園児や小・中学生が食に関する興味を持ち、学習できるようなイベントの企画や情報の提供を、健康フェスティバルにおいて取り組みます。	年1回 (3,838人)	年1回	健康づくり課	年1回(3,896人)
給食における食育の推進	旬の物や地元でとれた野菜を使用した献立を取り入れるとともに、野菜の収穫体験や紙芝居、ビデオにより食物への関心を高め、保護者には給食だよりを配布し、食と健康づくりに対する関心の高揚に努めます。また保育園食育計画に基づき食の大切さを学びます。	(保育園) 紙芝居、ビデオなどの上映給食だよりの配布	継続	子育て支援課	(保育園) 紙芝居、ビデオなどの上映給食だよりの配布 食育教育として食育プリントを配布
		(学校) 愛知を食べる学校給食の日の企画給食の実施 食育パンフレットの配布 年2回 継続	継続	教育課	(学校) 愛知を食べる学校給食の日の企画給食の実施(6・11・1月) 食育パンフレット(啓発用資料)の配布(6月)

(3)子どもたちの居場所づくり

① 遊び場の提供

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
遊び場情報の提供	市内の公園を身近なものと感じてもらえるよう、市内にある公園や児童館などの所在地、設備、遊具設置状況などを、パンフレットやホームページ、広報により、遊び場情報の提供をします。	転入者ガイドブックに掲載 市ホームページ掲載情報の追加・改善	推進	子育て支援課 まちづくり課	継続実施
軽スポーツ体験教室	子どもから高齢者までのそれぞれの体力や能力にあわせて、気軽に楽しむことのできる軽スポーツの体験の場を提供します。	ふれあいスポーツ 年7回 611人	10小学校区	生涯学習課	ふれあいウォーク江南(ウォーキング大会) 実績 第1回目 6月21日(土)開催 参加者113人 第2回目 11月22日(土)開催 参加者148人 参加者 合計 261人 子どもから高齢者まで、それぞれの体力に合わせた運動を始めるきっかけを提供し、仲間や家族と楽しむことにより市内各所を巡りながら交流を深めていただく。
こども学級(再掲)	学校週5日制の実施に伴う余暇時間の増大により、子どもたちと地域の人々とのふれあい活動や各種体験活動などを通じて子どもの健全育成を図ります。	3か所 35講座 延2,128人	3か所	生涯学習課	3か所 26講座 延1,373人
都市公園等の整備	地域性を生かした市民の自然とのふれあいの場、憩いの場や木曾川左岸の遊歩道などの整備促進を図ります。また、国営木曾三川公園尾張北部緑地江南拠点としての江南花卉園芸公園(愛称フラワーパーク江南)の早期全面開園を国に要望します。	広場の整備 (東野広場・松竹広場・草井広場) 木曾川左岸遊歩道 サイクリングロードの整備 (1.2km) フラワーパーク江南の供用区域拡大 (9.0ha)	推進	まちづくり課	フラワーパーク江南の早期全面開園を平成26年9月30日及び11月5日に国へ要望
公園等の維持管理	快適で安全な公園利用ができるよう維持管理の充実に努めるため、アダプトプログラムを活用するとともに、地域住民などによる公園愛護会の組織づくりを積極的に調査研究します。	1件 (東野広場)	継続	まちづくり課	5件 (東野広場、飛高広場、松竹広場、草井広場、花の広場)
放課後子ども教室(再掲)	小学校の余裕教室を活用し、放課後の子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保し、異年齢の児童間交流と地域住民との交流を図ります。	2校 95日 利用者3,252人	推進	教育課	4校で実施 開設日130日 年間利用者数延 16,682人

2 すべての家庭で はぐくむ子育て力を支援します

(1)子育て家庭の視点に立った保育サービスの推進

① 保育サービスの推進

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
通常保育	保育園の既存施設を有効活用し、保育事業を推進します。また、指定管理者制度により効率的な保育園の運営に努めます。	(21年3月) 18園 1,892人 5歳児 524人 4歳児 471人 3歳児 472人 3歳未満児 425人	18園 1,943人	子育て支援課	(平成27年3月) 18園 1,858人 5歳児 458人 4歳児 443人 3歳児 416人 3歳未満児 541人
低年齢児保育	3歳未満児の利用者の増加に対応できる保育事業に努めます。	(21年3月) 18園 425人 (乳児保育6園:生後7か月目から)	18園 440人 (乳児保育6園:生後57日から)	子育て支援課	(平成27年3月) 18園 541人 (乳児保育9園:生後7か月目から)
延長保育	保護者の勤務形態の多様化に対応するため、現在、午後7時及び1園については午後8時まで行っている延長保育の充実に努めます。【平成18年度より(30分時間延長)利用料 月額30分あたり750円を徴収】	18園 登録者数620人 (20年4月) (午前7時30分～午前8時) (午後4時～午後7時)	2園 (午前7時～午前8時) (午後4時～午後8時) 16園 (午前7時30分～午前8時) (午後4時～午後7時) (土曜日は正午～)	子育て支援課	登録者数 1,028人 16園(午前7時30分～午前8時)(午後4時～午後7時) 2園(午前7時30分～午前8時)(午後4時～午後8時)
一時保育	保護者の病気や出産、育児リフレッシュなどの場合に一時的に利用できる保育事業を推進します。	2園 1日定員20人 延154人 延利用日数 3,477日	2園 (20人)	子育て支援課	2園 1日定員20人 延人数213人 延利用日数 3,595日

障害児保育	集団保育が必要な障害児のために、健常児との統合保育により、成長発達を促進を支援します。	8園 (60人)	10園	子育て支援課	(平成27年3月) 10園 (74人)
特定保育	週2～3日程度、または午前か午後のみ利用できる保育事業を実施します。	2園 (一時保育とあわせて実施)	2園	子育て支援課	2園 (一時保育とあわせて実施)
休日保育	保護者の勤務形態の多様化により、日曜日や祝休日に利用できる保育事業を実施します。	未実施	1園	子育て支援課	未実施
乳幼児健康支援一時預かり (病児・病後児保育)	病気回復期にあり、集団保育が困難な場合、医療機関などに併設された保育施設において一時的に利用できる保育事業を実施します。	病児・病後児保育 利用料助成	1か所 (1日あたり4人)	子育て支援課	6人:15日 病児・病後児保育 利用料助成

② 学童保育サービスの推進

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
学童保育 (放課後児童健全育成)	利用者の増加に対応するため、公共施設の有効活用を図り、施設の確保に努めます。また、就労時間の多様化に伴い、開設時間の延長に努め、指定管理者による効率的な運営を推進します。【平成17年度から時間を30分延長 新たに1月2,500円の手数料を徴収】	10か所 ～午後6時30分 定員456人 申込人数670人 延人数98,452人	10か所 ～午後7時	子育て支援課	10か所 ～午後7時(長期)午前7時30分～午後7時 定員468人 申込人数753人 延人数110,894人

(2)多様な子育て支援サービスの推進

① 子育て中の親子の交流促進

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
子育て親子の交流促進	子育て中の親子に対して、保育園の園庭開放、ほほえみ広場、児童館の親子の遊びの広場での親子の交流を促進する事業を実施します。	園庭開放 週1回 ほほえみ広場 各園 年7回 親子の遊びの広場 186回 5,489人	継続	子育て支援課	園庭開放 各園週1回 ほほえみ広場 各園年7回 大人1,742人 子ども2,039人 親子の遊びの広場 140回 4,144人

② 子育てに関する相談、情報提供の推進

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
子育て相談窓口	子育て中の保護者の多様な相談に対して、各相談窓口の連携を行います。	相談件数1,075件	継続	子育て支援課	子育て支援センター 1,536件
子育て支援情報	子育て支援事業に関する情報を情報誌やインターネットなどで提供します。	子育て情報誌の作成 インターネットでの情報掲載	推進	子育て支援課	子育て情報誌の作成「楽しく子育て」3,000部 インターネットでの情報掲載
幼稚園情報の提供	幼稚園に関する入園案内などの情報を広報で提供します。	私立幼稚園入園案内を市 広報に掲載	継続	教育課	私立幼稚園入園案内を市広報に掲載

③ 子育て支援センター事業の推進

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
子育て支援センター	子育て家庭などに対して、育児不安などに対する相談、助言、子育てサークルなどの育成、支援、ほほえみ広場の開催及び子育てに関する情報誌の発行などを行う事業を推進します。	1か所 大人7,297人 子ども9,031人	3か所 推進	子育て支援課	3箇所 大人13,178人 子ども15,340人

④ ファミリー・サポート・センター事業の推進

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
ファミリー・サポート・センター	子育て中の保護者が仕事や急な用事などで子どもの世話ができないときに一時的、臨時的に地域の人が支援する会員同士の相互援助活動を行う事業を充実します。	(21年3月末) 1か所 会員登録者数 414人 依頼件数 606件	1か所 推進	子育て支援課	1か所 会員登録者数 457人 依頼件数714件

⑤ 地域における活動拠点等の推進

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
児童館活動 (再掲)	児童館が地域の身近な遊び場として、多くの子どもに利用されるように小・中学校、PTAなどの関係機関、団体と連携を図り、積極的な広報活動に取り組むとともに、魅力ある児童館にするために、子どもたちのニーズに応じた活動に努めます。また、指定管理者による効率的な運営に努めます。	児童館4施設 学習等供用施設 2施設 ファイヤーのつどい 77人 ウォークラリー64人 書画展1,574人 将棋大会46人 人形劇197人 卓球大会32人	児童館4施設 学習等供用施設 2施設	子育て支援課	児童館4施設・学習等供用施設2施設 ファイヤーのつどい120人 ウォークラリー 96人 書画展1,628人 将棋大会45人 卓球大会34人 を実施
母親クラブ活動	母親クラブのリーダーを育成し、自主的に活動できるよう支援します。また、多くの子育て中の親が活動に参加できる市の広報などで、加入促進に努めます。	2クラブ (60人)	4クラブ	子育て支援課	8クラブ(70人)
子ども会活動【再掲】	子ども会活動の向上、子ども会の育成に努めます。	66団体 3,804人	推進	子育て支援課	45団体、会員数2,742人(3月現在) (布袋小、布袋北小、藤里小、門弟山小校区なし)
国際交流「ふくらの家」 子ども塾	江南市国際交流協会が外国籍の子どもたちを対象に放課後の居場所づくりを実施し、子どもの健康育成を図ります。	1施設 子ども塾週3回 2,000人 外国人生活支援員による 相談事業 1,137件	推進	生涯学習課	2施設 子ども塾週2回 1,045名 外国生活支援員による相談事業 315件
赤ちゃんおでかけほっと ステーション	赤ちゃんを連れてお母さんが、外出される時に気軽に授乳やおむつ替えのできる施設を開設する。	平成22年度新規	実施施設の拡大	子育て支援課	18保育園・市役所・保健センターの施設に設置

(3)子どもたちと母親の保健と医療対策の推進

① 子どもや母親の健康の確保

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
母子健康手帳の交付と おめでとう相談	母性意識を高め、健やかな子どもを生み育てられるように支援します。	月～金午前 (807人)	月～金	健康づくり課	月～金午前 (720人)
マタニティマークの配布	妊婦にやさしい環境づくりの一環として、妊娠していることをさりげなく周囲の方に理解してもらうために、啓発マークを作成し妊婦に配布します。	母子健康手帳交付時に配布 945人	継続	健康づくり課	母子健康手帳交付時に配布 720人
フレッシュ・パパママ教室 (再掲)	妊娠、出産、育児に関する正しい知識を普及し、安心して出産に臨めるように支援します。	通常型 6コース (1コース3内容) 休日型6回 (延359人)	継続	健康づくり課	教室名称・内容及び回数変更ハッピーパパママ教室 通常型 6コース(1コース2内容) 休日型8回 延284人

産後リフレッシュ教室	産婦同士の交流を図り、育児体験や悩みの共有により不安を解消し、新たな気持ちで育児に臨むことができるように支援します。	月1回 (179組)	月1回	健康づくり課	月1回 (182組)
妊婦・産婦・乳児健康診査	妊婦の健康保持及び疾病の早期発見、早期治療をして、安心して出産ができるように支援します。産後の母体回復の確認と疾病などの早期発見・治療をすることで安心して子育てができるように支援します。また、子どもの発達、発育の確認と疾病の早期発見をして、心身の健全な育成を支援します。	妊婦健康診査 14回 延8,046人 産婦健康診査 1回 延790人 乳児健康診査 2回 延1,444人	妊婦健康診査 14回 産婦健康診査 1回 乳児健康診査 2回	健康づくり課	妊婦健康診査 14回 (延9,242人) 子宮がん検診 1回 (685人) 産婦健康診査 1回 (743人) 乳児健康診査 2回 (延1,310人)
4か月児健康診査	子どもの発達、発育の確認と疾病の早期発見、母親の育児不安の軽減、虐待のハイリスク家庭の早期発見及び心身の健全な発育を支援します。	月3回 (894人)	月3回	健康づくり課	月3回(773人)
1歳6か月児健康診査	幼児期における心身の障害、虐待のハイリスク家庭の早期発見、親の育児不安の軽減、乳歯のむし歯予防及び子どもの生活習慣の形成を図ります。	月2回 (909人)	月2回	健康づくり課	月2回(769人)
3歳児健康診査	幼児期における心身の障害、虐待のハイリスク家庭の早期発見、親の育児不安の軽減、むし歯予防及び子どもの生活習慣の形成を図ります。	月2回 (868人)	月2回	健康づくり課	月2回(844人)
妊婦歯科健康診査	妊婦自身の歯の健康管理と、子どもの歯の健康に対する関心が深まるように支援します。	妊娠中1回 (280人)	妊娠中1回	健康づくり課	妊娠中1回 (293人)
2歳6か月児歯科健康診査	歯科健康診査を実施し、幼児期のむし歯予防のために歯みがき方法などを指導します。	年16回 (324人)	月1回	健康づくり課	月1回(173人)
歯みがき相談	一人ひとりに応じた相談ができる場を設けることにより、乳幼児期から生涯を通じた歯の健康づくりを行い、むし歯予防ができるように支援します。	月1回 (38人)	月1回	健康づくり課	月1回(34人)
歯〜ピカ教室	乳幼児期から生涯を通じた歯の健康づくりを行うために、一人ひとりに応じた指導ができる場を設け、むし歯予防ができるよう支援します。	月1回 (162組)	月2回	健康づくり課	月1回(123組)
歯と栄養の親子教室 (げんきっ子教室) (再掲)	親と子に歯科保健習慣を身につける時期に、正しい知識や技術を普及します。	月1回 (208人)	月1回	健康づくり課	月1回(132人)
フッ化物洗口	保育園で5歳児を対象に、幼児の歯を虫歯から守るため、フッ化物洗口を行い、歯にフッ化物の層をつくります。	全保育園実施	継続	子育て支援課	全保育園実施
育児相談	一人ひとりに応じた相談ができる場を設けることにより、安心して子育てができるように支援します。	月2回 (1,244人)	月3回	健康づくり課	月3回(1,463人)
子育て教室	乳幼児期に起きやすい病気の予防や子どものかかわり方などの知識が得られるように支援します。	年6回 (123人)(保護者数)	推進	健康づくり課	8回実施(120人)
助産師による訪問相談	生後4か月未満の子どもをもつ家庭に、助産師が訪問し、子どもの発育、発達、栄養、生活状況を把握して保健指導をします。また、母親の産後の回復状況を観察し、精神的、身体的にも安定した状態で子育てできるように支援します。	1人1回 (293組)	1人1回	健康づくり課	生後4か月未満の子どもをもつ家庭のうち希望者1人1回 (374組)
保健師による訪問相談	生後4か月未満の子どもをもつ家庭や育児不安、発育、発達に心配のある家庭を、保健師が訪問し生活状況を把握し、保健指導をします。	随時 (延1,340件)	継続	健康づくり課	随時実施(延1,096件)
赤ちゃん訪問	生後4か月未満の乳児を持つ家庭に保健師または助産師などが訪問し、生活状況を把握して保健指導及び相談を実施するとともに、子育て支援に関する情報を提供し、精神的、身体的にも安定した状態で子育てできるように支援します。	出産順位第1子・要支援判断認定家庭への訪問 552人 (訪問保健師延234回、 助産師延293回)	全戸	健康づくり課	生後4か月未満の乳児を持つ家庭への訪問 (保健師、助産師、民生児童委員)(758人)
育児支援家庭訪問	育児ストレスなどで育児不安を抱える養育者に対して、保健師や保育士が家庭訪問を行い、子育てにおける悩みに対応できるよう、家庭訪問事業を実施します。	家庭訪問支援員 1人配置 対象世帯 13世帯 訪問世帯 13世帯	継続	子育て支援課	家庭訪問員 1人配置 対象世帯 18世帯 訪問 95回
予防接種の推進	乳幼児が感染症にかかることなく、健康を維持するため、予防接種法に基づき予防接種を推進します。	(接種率) 三種混合 93.5% 麻しん・風しん 94.2%	推進	健康づくり課	10月から水痘予防接種が追加 三種混合から四種混合に変更 (接種率)四種混合 85.1%麻しん・風しん 98.1%

② 小児医療対策の推進

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
かかりつけ医の確保の啓発	身近な地域で安心して医療が受けられるように、かかりつけ医の確保の必要性を啓発します。	実施	推進	健康づくり課	継続実施
医療情報の提供	小児医療に関する情報を広報やホームページなどで提供します。	市広報・保健センター ホームページによる 情報提供	継続	健康づくり課	継続実施
小児休日診療の提供	尾北医師会及び岩倉医師会の小児科開業医が、江南厚生病院の「こども医療センター」において、日曜日の午前9時から午後5時まで診療を行います。	診療日数40日 受診者数 1,329人	継続	健康づくり課	こども医療センター 診療日数53日 受診者数1,551人 休日急病診療所 診療日数70日 受診者数1,077人 (0~14才)

③不妊治療の支援の推進

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
一般不妊治療費の助成	不妊に悩む夫婦に対し、不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的な負担を軽減します。	1年度上限50,000円 までの助成 51人	継続	健康づくり課	1年度上限50,000円までの助成 48人
不妊に関する情報の提供	不妊治療助成制度の内容と不妊に関する情報を提供します。	愛知県の不妊治療 助成制度の紹介	推進	健康づくり課	随時実施
保健師による相談	妊娠や不妊に関する問題や悩みに対して、電話や面接などによる相談を行います。	随時	継続	健康づくり課	随時実施

(4)配慮が必要な家庭の子育て支援

① 児童施設での一時的な養育支援の推進

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
子育て短期支援 (ショートステイ事業)	保護者が疾病などの理由により子どもの養育が一時的に困難になった場合や、緊急一時的に保護を必要とする場合において、その子どもまたは母子を児童福祉施設などで養育、保護に努めます。	4施設 (市外委託) (利用者なし)	4施設 (市外委託)	子育て支援課	4施設(市外委託) 利用者なし
子育て短期支援 (トワイライトステイ事業)	保護者が、仕事などの理由により、平日の夜間または休日に不在となる場合や緊急の場合において、その子どもを施設で保護、生活指導、食事の提供などを行う事業を実施します。	未実施	3施設 (市外委託)	子育て支援課	未実施

② 児童虐待防止対策の推進

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
児童虐待防止対策協議会	児童虐待の発生予防から早期発見、児童虐待を受けた子どもの迅速かつ適切な指導、保護を行うため、関係機関の連携、協力体制の強化を図ります。市民への意識啓発に努めます。	江南市要保護児童対策地域協議会 1回 緊急ネットワーク会議 5回 実務者会議 12回	江南市要保護児童対策地域協議会ネットワーク会議の活用・実務者会議の設置・活用	子育て支援課	江南市要保護児童対策地域協議会（11月開催） 緊急ネットワーク会議 2回 実務者会議 12回
家庭児童相談室（再掲）	子どもや家族の持つ悩み（友人関係、いじめ、虐待、家族関係など）について電話相談または面接相談を受け、家庭における健全な児童養育、その他家庭児童福祉の向上を図ります。	1か所 （相談件数 110件）	1か所	子育て支援課	1か所（相談件数 10件）
主任児童委員、民生児童委員活動（再掲）	子どもが健やかに育つ環境づくりを、社会全体の課題としてとらえて支援するため、主任児童委員、民生児童委員と連携し、子どもの健全育成に努めます。また、保育園・小・中学校との情報交換を行います。	主任児童委員会 毎月1回 児童委員会 年2回	継続	子育て支援課	主任児童委員会 毎月1回開催 児童委員会 年2回開催（7月、12月）
赤ちゃん訪問（再掲）	生後4か月未満の乳児を持つ家庭に保健師または助産師などが訪問し、生活状況を把握して保健指導及び相談を実施するとともに、子育て支援に関する情報を提供し、精神的、身体的にも安定した状態で子育てできるよう支援します。	出産順位第1子・要支援判断認定家庭への訪問 552人 （訪問保健師延234回、助産師延293回）	全戸	健康づくり課	生後4か月未満の乳児を持つ家庭への訪問（保健師、助産師、民生児童委員）758人

③ 母子家庭等の自立支援の推進

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
母子家庭等に対する相談	母子自立支援員により、個々の母子家庭等の状況に応じ、子育てや経済的な基盤を強化するための就労相談、指導などを行い、自立に向けた支援に努めます。	母子自立支援員 1人配置 福祉資金の相談件数 157件 その他の相談件数 169件	継続	子育て支援課	母子自立支援員 1人配置 福祉資金の相談件数 126件 その他の相談件数 116件
母子家庭等日常生活支援	母子家庭等が、就職活動や病気などの社会的な事由により一時的に生活援助のサービスが必要な場合や、母子家庭等になって間がないなど、日常生活を営むのに支障が生じる場合に、家庭生活支援員を派遣し日常生活の安定に努めます。	江南市社会福祉協議会へ委託	継続	子育て支援課	江南市社会福祉協議会へ委託
自立支援教育訓練給付	母子家庭の母親の就職の機会を促進するため、技能習得、能力開発の取り組みを支援することにより、自立の促進に努めます。	給付金支給者 2人	継続	子育て支援課	給付金支給者 4人
児童扶養手当支給	18歳以下（18歳到達の年度の末日）の子どもを養育している母子家庭等に対し、手当てを支給することにより、子どもの健全な育成と福祉の増進に努めます。	国 支給対象児童数 13,159人 市 支給対象児童数 15,824人	継続	子育て支援課	国 支給対象延児童数 15,087人 市 支給対象延児童数 17,301人

④ 障害児医療支援の推進

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
在宅福祉サービス	障害児ができる限り住み慣れた地域で生活できるようホームヘルプサービス、ショートステイの提供を行います。	ホームヘルプサービス 派遣時間 年2,502時間 ショートステイ 利用日数 年258日	継続	福祉課	ホームヘルプサービス派遣時間 年646時間 ショートステイ利用日数 年113日
障害児デイサービス	健康診査で把握された障害児や発達に遅れのある子どもが適切な療育が受けられるよう、関係機関との連携を図りながら、集団療養訓練、日常生活自立訓練、その他の訓練を行い、子どもの健全な育成を援助します。	1か所 利用者60人 年2,877回	推進	福祉課	（児童発達支援）市内5ヶ所 市外10ヶ所 利用者23人 年1,467回
		わかくさ園 利用者43人 年2,515回	推進	福祉課	わかくさ園 利用者47人 年2,994回
障害児保育（再掲）	集団保育が必要な障害児のために、健常児との統合保育により、成長発達の促進を支援します。	8園 （60人）	10園	子育て支援課	（27年3月）10園 （74人）
江南市中心身障害者扶助料支給	心身障害児の福祉の増進に寄与するために支援します。	（障害児）対象者 204人	継続	福祉課	18歳未満 218人
教育支援委員会	障害のある子どもの適切な就学を図ります。	年2回	継続	教育課	年2回
特別支援学級等支援職員配置	小・中学校の特別支援学級等に在籍する多動性障害傾向や視覚障害などの子どもの安全確保や指導をするため支援職員を派遣し、特別支援学級等の充実を図ります。	小学校7校（内1校2人） 中学校2校に各1人配置	推進	教育課	小学校10校（内6校2人） 中学校1校に1人配置
障害児の放課後対策	養護学校などへ通学する児童生徒の放課後の対策として、児童デイサービス事業により支援します。	利用者26人	推進	福祉課	（放課後等児童デイサービス）利用者120人

3 安全な環境ではぐくむ地域の子育て力を支援します

（1）地域で見守る安心・安全なまちづくり

① 安全で安心して通行できる環境の整備

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
江南市交通安全推進協議会の活動支援	交通安全教育の充実、交通道徳の普及、街頭監視活動、街頭啓発活動、広報啓発活動など交通安全運動の展開により、交通安全意識の高揚及びマナーの向上への取り組みを支援し、子どもの安全確保に努めます	街頭監視活動 17回 街頭啓発活動 6回 広報啓発キャンペーン活動 4回	継続	防災安全課	街頭監視活動 16回 街頭啓発活動 7回 広報啓発活動 12回
交通安全思想の普及徹底	交通社会の一員としての責任を自覚し、交通安全意識と交通マナーを身につけるためには、人間の成長過程に合わせた交通安全教育を推進する必要があることから、交通安全教室を通じて子どもと保護者に参加、体験、実践型の交通安全教育を実施します。	（防災安全課） 交通安全教室 31回（保育園） 交通安全教室 64回（学校） 学級活動などで交通安全指導	継続	防災安全課 子育て支援課 教育課	（防災安全課）交通安全教室 39回 （保育園）交通安全教室 72回 （学校）学級活動などで交通安全指導
チャイルドシート着用の推進	平成12年4月から義務づけられたチャイルドシートの着用が子どもの交通事故による被害の防止、軽減に大きな効果があることから、保育園の幼児交通安全クラブなどに対して、着用の徹底を啓発するとともに交通安全キャンペーンなどを通じて着用の推進に努めます。	（防災安全課） 街頭キャンペーン活動 4回（健康づくり課） 母子手帳配布時にガイドブック配布	継続	防災安全課 健康づくり課	（防災安全課）街頭キャンペーン活動 4回 （健康づくり課）母子手帳配布時にガイドブック配布

交通安全施設整備	道路照明灯、道路反射鏡、道路区画線、交差点減速などの整備をして地域や公安委員会と連携し、安心して過ごせる生活圏を確保します。また、学校周辺の通学路における子どもの安全を確保するため路側帯の整備に努めます。	道路照明灯 38基 道路反射鏡 72基 道路区画線 14,338m 交差点減速 10基 交差点停止線 20基 道路警戒標識 9本 交差点路面表示設置 174か所	推進	防災安全課	道路照明灯 27基 道路反射鏡 59基 道路区画線 3700.32m 交差点減速 3基 交差点停止線 6基 道路警戒標識 3本 交差点路面表示 201か所
交通事故多発地帯における重点対策の推進	死傷事故発生割合が高いエリアを、公安委員会と共同し信号機、歩道などの整備を重点的に実施します。	市道江南岩倉線歩道設置工事 (平成19年度工事の繰り越し) 高屋町地内 L=224m W=16m	継続	まちづくり課	江南岩倉線歩道設置工事 平成24年度事業完了
交通事故発生状況の提供	各地区で起きた交通事故情報を警察と協力して提供します。	市内交通事故発生状況図の市役所・市民体育会館での掲示	市内交通事故発生状況図の市役所・市民体育会館での掲示及び小・中学校、保育園へ情報提供	防災安全課	広報こうなんにて交通事故件数を掲載
飛び出し注意(ストップマーク)標示の整備	通園通学路及び生活道路の見通しの悪い場所に「飛び出し注意(ストップマーク)」を標示し、子どもの事故防止のため積極的に整備します。	ストップマーク貸出年 16回	継続	防災安全課	ストップマーク貸出 年7回
交通渋滞時の抜け道防止対策	交通渋滞時の抜け道防止対策として一方通行や時間帯の車両進入禁止などを公安委員会及び地域と積極的に検討するとともに、交通事故防止のため、路側帯幅などによるスピード抑止のための対策を実施します。	道路区画線、死亡事故現場看板を設置	継続	防災安全課	継続実施
幼児2人同乗自転車貸出	6歳未満の幼児用座席2つを設けた幼児2人同乗自転車を各保育園に1台配置し、希望者に無料で貸し出します。	平成21年度新規	継続	子育て支援課	貸出人数 延194人

② 安全で安心して暮らせるまちづくりの推進

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
江南防犯協会連合会の活動支援	江南防犯協会連合会が推進する地域安全活動、防犯意識の高揚、子ども、女性などを狙う犯罪防止に対する活動などへの取り組みを積極的に支援します	広報「防犯だより」年4回発行	継続	防災安全課	継続実施
防犯施設整備への助成	区、町内会が設置、維持管理する防犯灯に対し設置費及び電気料金を補助することにより、路上犯罪などの抑止に努めます。	防犯灯設置費補助基数 136基 防犯灯電気料金補助基数 5,203基	継続	防災安全課	防犯灯設置費補助基数230基 防犯灯電気料金補助基数5,648基
地域安全パトロール隊への助成	増加傾向にある犯罪の発生や少年の非行などを、ボランティアによる地域ぐるみの安全活動によって防ぎ、安心して安全に生活できる地域社会を実現するための活動に対して助成します。	新規助成団体数6団体に 反射材付チョッキ、非常赤色灯の助成 団体総数62団体	継続	防災安全課	反射材付チョッキ、青色フラッシュバーの助成団体総数71団体
犯罪情報の提供	各地区で起きた身近な犯罪、不審者情報を、対応策を含めて警察と協力して提供します。	市内街頭犯罪発生状況図の市役所・市民体育会館での掲示	市内街頭犯罪発生状況図の市役所・市民体育会館での掲示及び小・中学校、保育園へ情報提供	防災安全課	江南警察所管犯罪発生状況をパトロール隊に毎月送付
防犯対策の普及促進	「愛知県安全なまちづくり条例」に基づき、防犯性の高い住宅の普及を促進します。	県作成「住まいの防犯対策」パンフレットの窓口配布	廃止	建築課	実施しない ・平成19年3月に愛知県住宅計画課が発行した「住まいの防犯対策」パンフレットの在庫がなくなり、県での更新・増刷の予定がないため。
「子ども110番の家」など緊急避難場所の設置促進	子どもが見知らぬ人から声をかけられたり危険を感じたときに助けを求められる場所として「子ども110番の家」を通学路上に設置し、子どもの安全に努めます。	1,020か所設置	推進	教育課	958か所設置
子どもが犯罪などの被害に遭わないための安全マップの作成・配布	不審者が出没した場所、危険な場所などを記載した安全マップを配布して、安全指導を行います。	小・中学校15校で安全マップの作成	継続	教育課	平成21年度に作成・配布した安全マップを活用
緊急情報等メール配信	市内小・中学校及び保育園から、インターネット回線を介して、保護者の携帯電話に不審者情報、緊急連絡などの情報を提供します。	全校・全保育園で実施	継続	教育課 子育て支援課	全校・全保育園で実施
下校時安全パトロール	小学校児童の下校時の安全を確保するため、パトロールを実施します。	全校に自主防犯組織の結成	継続	教育課	全小学校に自主防犯組織の結成
子どもの安全・安心教育	保育園児が小学校への入学をきっかけに一人で行動する機会が多くなるため、親や就学前の子ども自身で自分の身を守る方法などを指導します。	保護者向け安全マニュアルのリーフレット作成防犯教室の実施	継続	子育て支援課	継続実施
少年センター事業(再掲)	少年センターの相談員が、子どもや家族の持つ悩み(友人関係、いじめ、不登校、家族関係など)について、電話相談または面接相談を受け、青少年の不安が軽減するように支援します。	1か所 相談件数98件 街頭補導144回 参加人数706人	1か所	教育課	相談件数167件 1か所 街頭補導144回 参加人数605人

(2) 子どもと子育てにやさしいまちづくり

① 人にやさしいまちの整備

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
人にやさしい街づくり整備	だれもが利用しやすい施設に向けた整備を図ります。	多目的及び女子便所の設置(洋式、手すりの設置)1か所	継続	建築課	多目的便所への改修(洋式、手すりの設置) 西部中学校校舎改造工事、図書館バリアフリー化工事

4 社会全体で はぐくむ子育て力を支援します

(1) 仕事と家庭の両立支援

① 企業への啓発活動の推進

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
企業への啓発活動	子育てに対する理解と職場環境の改善を求める啓発活動を実施し、子育てへの理解を高めます。	事業主や人事担当者を対象としたセミナー開催(県主催)の啓発パンフレットを窓口で配布	継続	産業振興課	厚生労働省、都道府県労働局、愛知県産業労働部労働局が作成するリーフレットやポスターなどを産業振興課窓口を設置するとともに、必要に応じて広報こうなんにその内容を掲載するなど周知、啓発に努めた。また、県の「愛知『働き方改革』」に賛同し、仕事と生活の調和が十分とれるよう普及啓発に取り組むこととした。

② 子育て参加の推進

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
父親参加の教室	父親が子育てに積極的に参加し、その楽しさ、喜びを見いだすことができるように、父親と子どもがふれあう教室を開催します。	実施回数4回 70家族	継続	子育て支援課	1歳未満2回開催 1歳以上4回開催 100家族参加
家庭生活自立支援講座(再掲)	男女共同参画社会の形成促進を図るための事業として、育児における男性の役割をテーマとした講座を開催します。	家庭生活自立講座 料理教室 8人 子育て教室 2教室 延17家族 (50人)	推進	生涯学習課	家庭生活自立講座 料理教室 14人 子育て教室 2教室 延13家族 (36人)
フレッシュ・パパママ教室(再掲)	妊娠、出産、育児に関する正しい知識を普及し、安心して出産に臨めるように支援します。	通常型6コース (1コース3内容) 休日型6回 (延359人)	継続	健康づくり課	教室名称・内容及び回数変更ハッピーパパママ教室 通常型 6コース(1コース2内容) 休日型8回 延284人
男女出会いサポート	商工会議所、青年会議所の実施する活動を支援するとともに、あいち出会いサポート事業について広く市民へ啓発します。	平成21年度新規	—	子育て支援課	未実施

(2) みんなで支える子育て支援制度の推進

① 子育て費用の軽減

事業名	事業内容	平成20年度	平成26年度	担当課	平成26年度実施状況
		現状値	目標値		
子育て家庭優待(はぐみんカード)	子育て家庭や妊娠中の方に、市が配布する「はぐみんカード」を提示することにより、協賛店舗で特典を受けることができます。	協賛46店舗	推進	子育て支援課	協賛77店舗
子ども医療費助成	子どもの福祉を増進するため、子ども医療の充実を図ります。	通院 7歳に達した日以降 最初の3月31日まで 入院 15歳に達した日以降 最初の3月31日まで	推進	保険年金課	通院 小学校6年生(12歳になった年度末)まで ※ただし、小学校4～6年生は保険診療自己負担額の3分の2を助成 入院 中学校3年生(15歳になった年度末)まで
母子家庭等医療費助成 母子・父子家庭医療費助成	18歳以下(18歳到達の年度の末日)の子どもを養育している母子家庭等に対し、医療費の助成を行なうことにより、子どもの健全育成と福祉の増進に努めます。	継続	継続	保険年金課	継続実施
障害者医療費助成	障害者に対し、医療費の助成を行なうことにより、福祉の増進に努めます。	継続	継続	保険年金課	継続実施
児童手当支給 (平成22年度から、国の「児童手当」は「子ども手当」に改正し、市児童手当は廃止)	子どもを養育している保護者に対し、手当を支給することにより、子どもの健全な育成と福祉の増進に努めます。	国 3歳未満児 30,037人 3歳以上の第1・2子 87,562人 3歳以上の第3子以降 10,004人 市 就学前3人目 1,675人 就学前 4人目以降 84人	継続	子育て支援課	3歳未満児 延 26,054人 3歳以上小学校修了前(第1・2子) 延 83,636人 3歳以上小学校修了前(第3子以降) 延 10,823人 中学校修了前 延 33,717人 特例給付 延 10,116人
粗大ごみリサイクル品の無料配布	粗大ごみとして出された子ども用の自転車や学習機などを修理し、リサイクル展及び環境フェスタにおいて無料で配布します。	年1回開催(子ども用品以外も含む) 環境フェスタ 69品目 申込者数 609人	年1回	環境課	廃止
家庭用品リサイクルバンクによる育児用品の紹介	リサイクル活動の一環として、ベビーベッド、ベビーカー、遊具など不要となった育児用品を広報、ホームページにより積極的に紹介します。	成立件数59件	継続	環境課	成立件数77件
第三子保育料無料化事業	18歳未満の児童が3人以上いる世帯で、第3子以降が3歳未満の場合に保育料を無料にし、当該世帯の経済的負担を軽減します。	対象者112人	継続	子育て支援課	対象者58人